

平成31年度予算見積調書

課室名：みどり自然課

担当名：野生生物担当

内線：3152

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B53	生物多様性保全事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	生物多様性基本法 生物多様性国家戦略		宣言項目			
					分野施策	051247 生物多様性の保全		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>多様な生物によって構成される生態系は様々な恩恵をもたらすとともに全ての生物の生存基盤となっている。県内の生物多様性を損なうことなく自然と人間との共生の確保が求められる。県の魚ムサントミヨや県民の鳥シラコバトの保全対策の実施等を通して、生物多様性を保全していく。</p> <p>(1) ムサントミヨ保全対策事業 23,055千円 (2) シラコバト保全対策事業 4,426千円</p>								
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.8人=7,600千円			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア ムサントミヨ保全対策事業 23,055千円 希少種条例に基づく「県内希少野生動植物種」であり、県の魚でもあるムサントミヨの生息地元荒川の水源維持と、ムサントミヨ保護センター等で個体の保護増殖を実施する。</p> <p>イ シラコバト保全対策事業 4,426千円 野外に生息するシラコバトの個体数の変動を見守りつつ、県内動物園を中心に保護増殖・展示施設を確保する。また、将来的に野外生息数が減少した場合に備えて、野生復帰できる環境を検討する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ムサントミヨの飼育分散の実施（県内2か所） イ シラコバト生息状況調査の実施、保護増殖施設での飼育、展示（県内2か所）</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 県の魚で希少な魚ムサントミヨを継続的に繁殖し保護することで、種の絶滅を防ぐことができる。 イ 県民の鳥でコバトンのモデルであるシラコバトを将来にわたって保全できる。</p>					
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	27,481						27,481	△9,156
前年額	36,637						36,637	